

The background of the slide is a reproduction of Leonardo da Vinci's 'The Last Supper'. The painting depicts Jesus Christ and his twelve apostles seated around a long table in a room with a grid-patterned ceiling and several windows. The central figure, Jesus, is shown with a pale face and hands raised in a gesture of blessing. The other figures exhibit various expressions of shock, denial, and grief. The text is overlaid on the central part of the painting.

西洋美術史ゼミ

第18回

抽象表現主義・ポップアートなど

発表者 あまずん

発表者について

あまずん

Twitter : @quii_w (メイン)

@amazuunsc (サブ)

理系の大学生 (数学科) です。

近代以降の美術史や思想史、現代美術について
興味があります。



ゼミについて

- 週1回程度で美術出版社「増補新装 カラー版 西洋美術史」を一章ずつ読み進め、内容をまとめ発表します。
- また、高校世界史に沿う形で当時の出来事についても説明します。
- そのため、世界史と美術史を同時に学ぶことができるため、歴史が好きな方も美術が好きな方も学びを深めることができます。



前回の内容

- 1929年に**世界恐慌**が起こり、世界経済が混乱した。世界は「持てる国」と「持たざる国」に分かれ、この対立が**第二次世界大戦**を引き起こした。
- 機械文明を賛美する**未来派**がイタリアで興った。
- **ロシア・アヴァンギャルド**が起こり、抽象的な**シュプレマティスム**と革新的な**構成主義**が興った。また、**モンドリアン**の抽象画もある種の到達点である。
- **反芸術**を標榜する**ダダ**と、それに影響を受け、**無意識**により現実を超えようとした**シュルレアリスム**が生まれた。



デュシャン 《泉》

本日の内容

世界史について

- 冷戦と第三世界の台頭

美術について

- アンフォルメル
- 抽象表現主義
- アメリカとイギリスのポップ・アート
- フルクサス
- 機械文明と美術
- 表現世界の拡大

全体の概略

- 戦後にアメリカとソ連の間で**冷戦**が起こった。緊張は長く続き、局所的な武力衝突にまで発展したが、89年に正式に終結した。
- 世界大戦の混乱によりパリの芸術家がアメリカに移住し、ここで新たな芸術が開花した。その中で主流なのは**抽象表現主義**と**ポップ・アート**である。
- このスライドでは美術史を体系的に学習するという目的のもと、それぞれの潮流を一つの流れの中に位置づけようと試みています。しかし、非常に多様な様式が誕生した近現代において、これはあくまで一つの位置付け、一つの視点でしかなく、文献によって多少異なることがあるのを留意してください。

本日の内容

- **世界史：米ソ冷戦**
- 美術史：アンフォルメルと抽象表現主義
- 美術史：アメリカとイギリスのポップ・アート
- 美術史：機械文明と美術
- 美術史：表現世界の拡大

米ソ冷戦(1)

- 東ヨーロッパやバルカン諸国には大戦中にソ連軍に解放された国が多く、戦後、ソ連はそれらの国に**親ソ的な政権を樹立させた**。
- これによりアメリカはソ連への警戒を強め、ソ連の拡大を封じ込める政策を出したがソ連側も対抗した。
- これを発端として、以後「**冷戦**」と呼ばれる緊張状態が米ソ間で激化していく。



ベルリンの壁

米ソ冷戦(2)

- 東欧諸国ではソ連の後押しを受けた**共産党主導の改革**が進められたのに対して、西ヨーロッパ諸国は**アメリカと同盟を結び**、東西は対立していった。
- ヨーロッパのように南北に分断されていた朝鮮では、1950年に**朝鮮戦争**が起こる。これは**北朝鮮と韓国の戦争**だったが**米ソ両陣営が深くかかわり**、冷戦体制はさらに強まった。



朝鮮戦争で戦う国連軍

米ソ冷戦(3)

- **核兵器実験**などの軍備拡大が行われるなど緊張は強まっていた。スターリンの死後に歩み寄りの姿勢が見られた(「**雪どけ**」)が挫折し、**キューバ危機**によって緊張は最高潮に達した。
- しかし、米ソ両国はこの危機を何とか乗り越え、**軍縮条約に調印**するなど緊張緩和に動いていき、89年に正式に**冷戦終結**が宣言された。



キューバ危機

第三世界の台頭

- 冷戦の激化に伴い、**アジア・アフリカの新興独立国**のあいだには東西両陣営の対立にまきこまれることへの危機感が高まり、どちらにも属さない第三勢力を形成しようとする動きが生まれた。
- こういった国々を**第三世界**と呼び、**平和共存**や**反植民地主義**を目指して協調した。ただし、この用語は主に冷戦中に使われたものであり、今では**発展途上国**や**グローバル・サウス**と呼ばれる。

- 第一世界 = 西側諸国
- 第二世界 = 東側諸国

本日の内容

- 世界史：米ソ冷戦
- **美術史：アンフォルメルと抽象表現主義**
- 美術史：アメリカとイギリスのポップ・アート
- 美術史：機械文明と美術
- 美術史：表現世界の拡大

抽象表現主義とポップ・アート

- 戦後の美術運動において二大潮流があり、それは**抽象表現主義**と**ポップ・アート**である。
- 第二次世界大戦の混乱により、芸術家の多くがヨーロッパからアメリカに亡命し、美術の舞台もアメリカに移ることとなった。
- こうしてアメリカでも新しい抽象絵画運動の**抽象表現主義**が生まれた。そして、この「高尚」な美術への反発として**ポップ・アート**が生まれた。



Fair use, <https://en.wikipedia.org/w/index.php?curid=4268566>

ウォーホル 《キャンベルスープの缶》

アンフォルメル(1)

- 戦後のヨーロッパにおいて、**アンフォルメル**が生まれた。
- この名称は「不定形 (Art informel)」を意味し、明瞭なかたちがもたらす**秩序や構造を欠き**、**マチエール** (絵画表面の物質感) の**荒々しさが際立つ**表現を追求し、戦争体験など無秩序な現実^に投げ込まれた自己の生を問うた。
- この運動は後述する抽象表現主義と時代的に呼応したものであった。



By Jean Fautrier - <https://www.wikiart.org/en/jean-fautrier/t-te-d-otage-no-14-head-of-a-hostage-no-14-1944>, Fair use, <https://en.wikipedia.org/w/index.php?curid=60108060>

ジャン・フォートリエ

《Head of a Hostage No. 14》

アンフォルメル(2)



By User:TonyTheTiger - own picture, Fair use,
<https://en.wikipedia.org/w/index.php?curid=11953760>

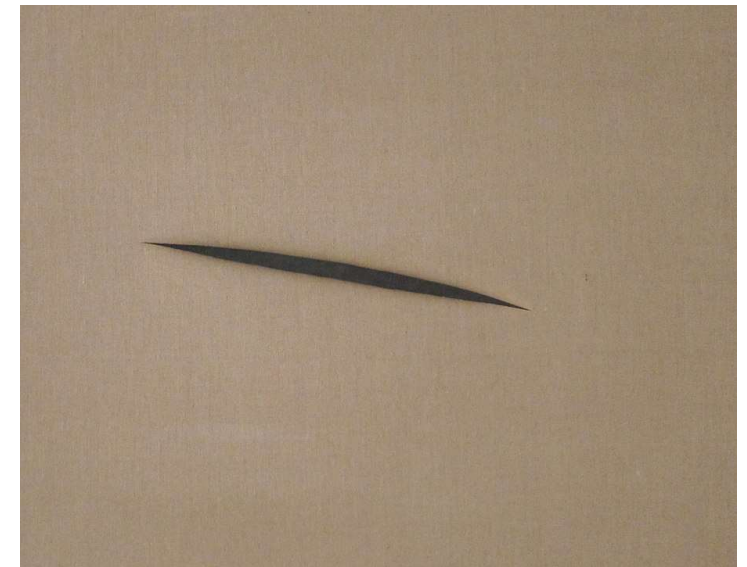
デビュッフェ 《Court les rues》



ヴォルス 《無題》

アンフォルメル(3)

- 彼らに続くヨーロッパの画家に**アントニ・タピエス**と**ルーチョ・フォンタナ**がいる。
- タピエスは美術用画材でないものを利用した芸術である「**アルテ・ポーヴェラ**」のスタイルで作品を作った。
- また、フォンタナは「**空間主義**」を標榜して**キャンバスを切り裂いた作品**を作った。これは三次元の絵画とも呼べるものであり、二次元性に縛られていた絵画の可能性を広げた。



By Wmpearl -
File:Spatial_Concept_'Waiting',_cut_canvas_by_Lucio_Fontana,_Tate_Modern.JPG, CC BY-SA 4.0,
<https://commons.wikimedia.org/w/index.php?curid=83054320>

フォンタナ 《Waiting》

抽象表現主義(1)

- アンフォルメルと同時代にアメリカで起こった芸術運動として**抽象表現主義**がある。
- これは批評家の**クレメント・グリーンバーグ**に牽引された運動で、主な特徴は
 1. **巨大なキャンバス**
 2. **画面に中心がなく地と図の区別がない「オールオーバー」な平面**
 3. **創作過程を重視**（画面は作家の描画行為の痕跡）である。



By Jackson Pollock - www.jackson-pollock.org, CC BY-SA 4.0, <https://commons.wikimedia.org/w/index.php?curid=94787245>

ポロック 《Number 1 (Lavender Mist)》

抽象表現主義(2)

- グリーンバーグは絵画の本質を「**平面的な表面、支持体**（面を構成する物質）の**形態、顔料の特性**」であるとし、この中でも特に平面性を重視した。
- 彼はこの平面性こそがモダニズムを近代以前と分かつものだと主張し、純粹で高尚な**アヴァンギャルド**（⇔**キツチュ**）である抽象表現主義を称揚した。



By Willem de Kooning / Museum of Modern Art - https://www.moma.org/learn/moma_learning/willem-de-kooning-woman-i-1950-52-2/, Fair use, <https://en.wikipedia.org/w/index.php?curid=699885>
87

デ・クーニング 《Woman I》

抽象表現主義(3)

- ここでは詳細には立ち入らないが、これは身体性の強い**アクション・ペインティング**や、薄いヴェールのような色面を作った**カラーフィールド・ペインティング**などが含まれる概念である。
- 抽象表現主義は幾何学的な「**冷たい抽象**」に対し、表現主義的な「**熱い抽象**」と呼ばれる。この運動から美術の中心地はヨーロッパからアメリカに移ってゆくことになる。



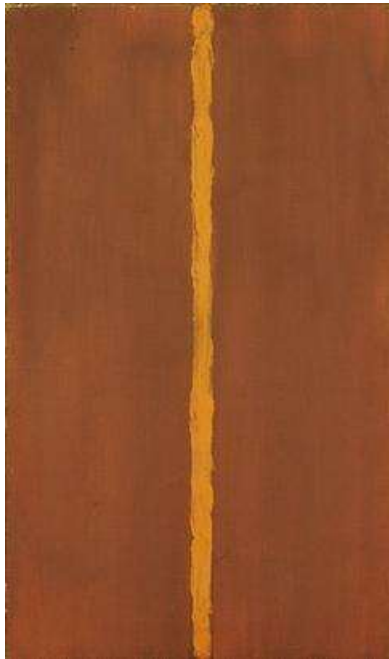
By
http://gothamist.com/2012/05/09/record_for_rothko_orange_red_yell
ow.php, Fair use,
<https://en.wikipedia.org/w/index.php?curid=35864577>

ロスロ 《Orange, Red, Yellow》

抽象表現主義(4)

- 以下が代表的な画家である。
- **ジャクソン・ポロック**
- **マーク・ロスコ**
- **ウィレム・デ・クーニング**
- バーネット・ニューマン
- クリフォード・ステイル
- **サイ・トゥオンブリー**
- フレンツ・クライン
- ロバート・マザウェル

抽象表現主義(5)



By
http://www.moma.org/collection/browse_results.php?criteria=O%3AAD%3AE%3A4285&page_number=5&template_id=1&sort_order=1, Fair use,
<https://en.wikipedia.org/w/index.php?curid=12328709>

ニューマン 《Onement 1》



Fair use, <https://en.wikipedia.org/w/index.php?curid=10500721>

ステイル 《1957-D No. 1》

抽象表現主義(7)



Fair use, <https://en.wikipedia.org/w/index.php?curid=1491796>

クレイン 《Painting Number 2》



Fair use, <https://en.wikipedia.org/w/index.php?curid=10881894>

マザウェル
《Elegy to the Spanish Republic No. 110》

抽象表現主義(8)



By museum in progress, Cy Twombly, CC BY-SA 3.0 de,
<https://commons.wikimedia.org/w/index.php?curid=15817660>

トゥオンブリー 《Bacchus》



By Original work: Cy TwomblyDepiction: 19h00s - Own work, Fair use,
<https://en.wikipedia.org/w/index.php?curid=71268167>

トゥオンブリー 《Untitled (Bolsena)》

本日の内容

- 世界史：米ソ冷戦
- 美術史：アンフォルメルと抽象表現主義
- **美術史：アメリカとイギリスのポップ・アート**
- 美術史：機械文明と美術
- 美術史：表現世界の拡大

アメリカとイギリスのポップ・アート: CONTENTS

- ① 概略
- ② ネオダダ
- ③ ポップ・アート
- ④ 戦後のイギリス美術
- ⑤ ブリティッシュ・ポップ
- ⑥ フルクサス

アメリカとイギリスのポップ・アート

- 第二次世界大戦で国土が戦場とならなかったアメリカはどの国よりも早く「豊かな社会」を実現しており、この文化は西ヨーロッパ諸国にも流入した。
- こうした文化状況から、**大衆文化の産物**を主題や素材として用いた**ポップ・アート**が生まれてきた。
- この運動はそれ以前の「**高尚**」な**美術への反発**であり、**日常的現実への復帰とイメージのオブジェ化**を目指した。



Fair use, <https://en.wikipedia.org/w/index.php?curid=4161528>

ハミルトン

《一体何が今日の家庭をこれほどに変え、魅力あるものになっているのか》

ネオダダ(1)

- 1950年代の後半から、抽象表現に対するアンチテーゼとして、アメリカの国旗やダーツの標的などの**大衆的で明確な主題**を用いた**ネオダダ**の運動が起こった。
- **ジャスパー・ジョーンズ**と**ロバート・ラウシェンバーグ**を中心とした運動で、二次元のイメージのオブジェ化を行い絵画の可能性を開いたほか、後述するポップ・アートへ多大な影響を与えた。



Fair use,
<https://en.wikipedia.org/w/index.php?curid=11164841>

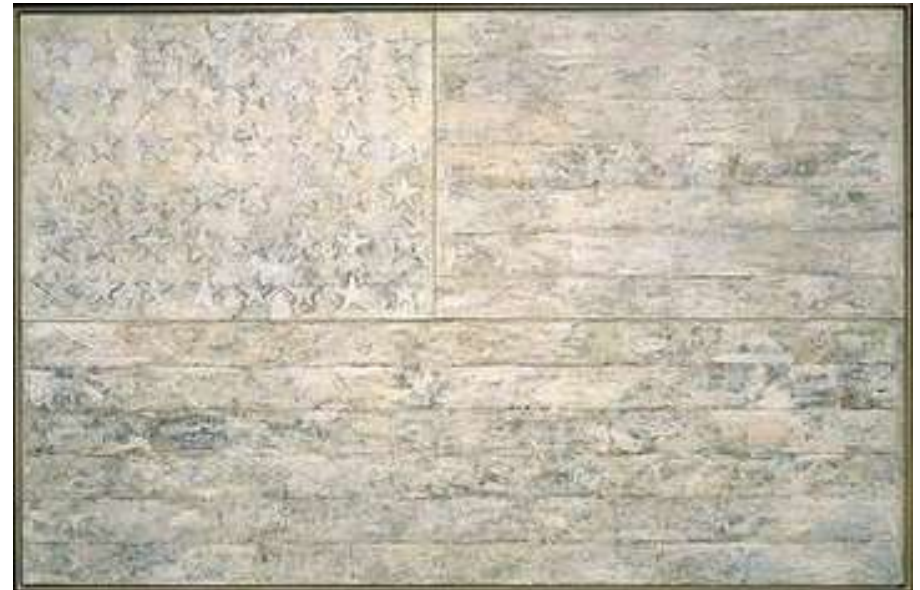
ジョーンズ 《Flag》

ネオダダ(2)



By Sharon Mollerus - Robert Rauschenberg, Retroactive II, 1963 1/26/18 #mcachicago, CC BY 2.0, <https://commons.wikimedia.org/w/index.php?curid=68077062>

ラウシェンバーグ 《Retroactive II》



By Jasper Johns - <https://www.metmuseum.org/art/collection/search/487065>, Fair use, <https://en.wikipedia.org/w/index.php?curid=56410277>

ジョーンズ 《White Flag》

ポップ・アート(1)

- アメリカではネオダダを継承した **ポップ・アート** が興り、イメージのオブジェ化はさらに多様となった。
- 彼らはポスター、看板、標識、漫画、写真など、**極めて卑近（キッチン）な、工業化された大衆社会のなかのイメージ**を、破いたり、断片化したり、拡大したりと徹底してオブジェに変えてしまった。



Fair use, <https://en.wikipedia.org/w/index.php?curid=4268566>

ウォーホル 《キャンベルスープの缶》

ポップ・アート(2)

- 主要なのは**ロイ・リキテンスタイン**と**アンディ・ウォーホル**である。
- **リキテンスタイン**は漫画の一コマをキャンバスに拡大し、ドットのの一つ一つまでもを描いた。
- **ウォーホル**は**キャンベル・スープの缶**や、**マリリン・モンロー**や**毛沢東**など**有名人の写真を用いた版画**などを制作した。
- 彼らはカウンターカルチャーの時代における大衆絵画作家としても成功し、その作品は熱狂的に受け入れられた。

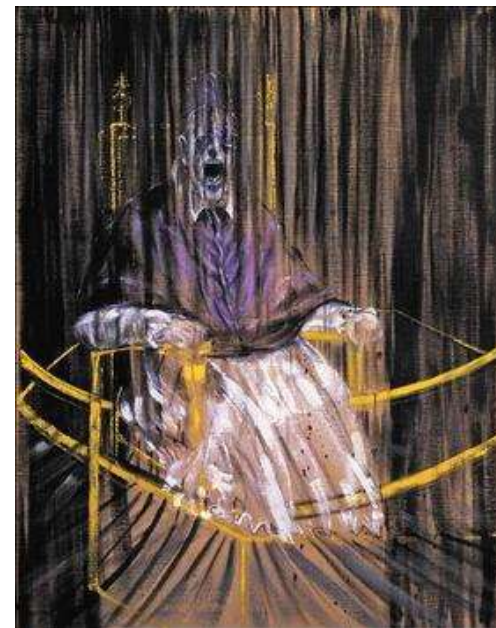


By Roy Lichtenstein -
<http://www.lichtensteinfoundation.org/0117.htm>, Fair use,
<https://en.wikipedia.org/w/index.php?curid=5673384>

リキテンスタイン 《溺れる女》

戦後のイギリス美術(1)

- イギリスでも同様にポップ・アートが隆盛するが、この運動は**フランシス・ベーコン**の多大な影響下にある美術界への反発であった。
- ベーコンは20世紀最も重要な画家の一人として扱われもする人物で、抽象絵画が全盛となっていた大戦後の美術界において**具象絵画**にこだわり続けた。
- 彼は**磔刑や教皇、親しい友人**などをモチーフとし、**戦中戦後の苦痛や苦悩**が凝縮されたような絵画を描いた。

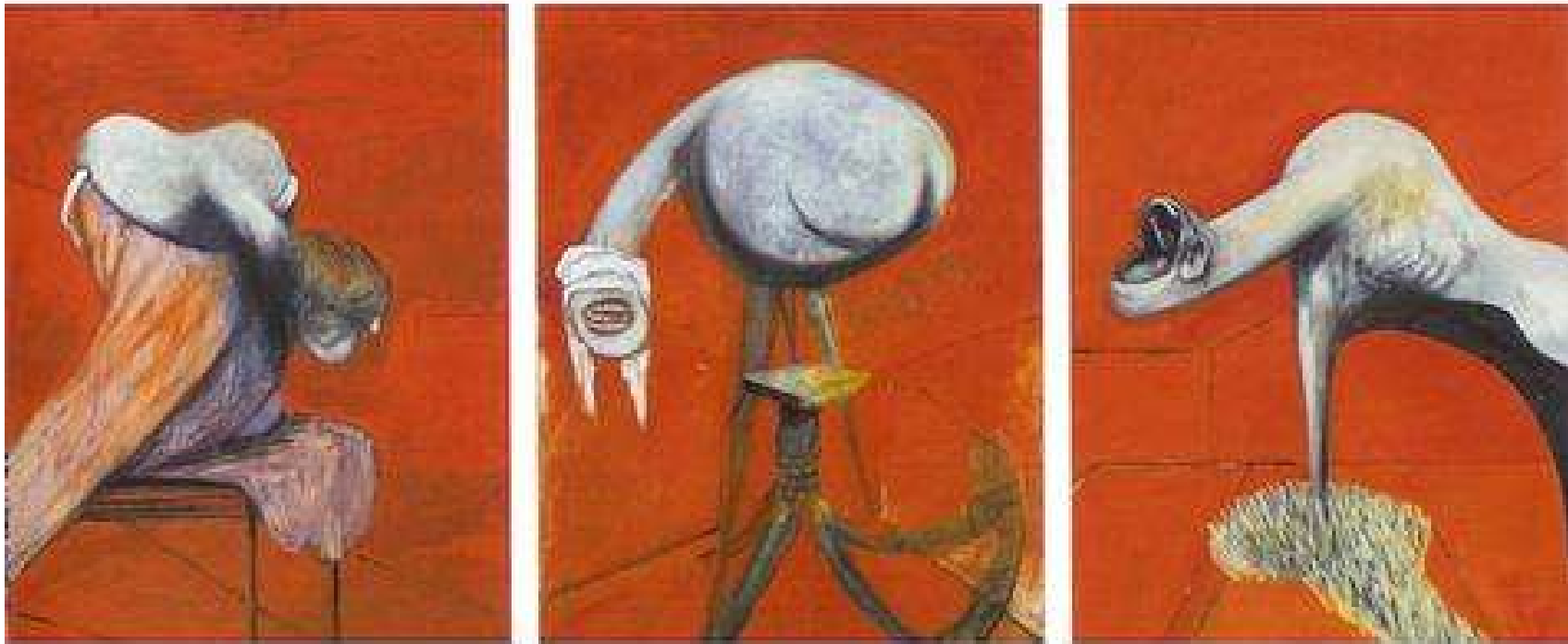


By desmoinesregister.com, Fair use,
<https://en.wikipedia.org/w/index.php?curid=3042185>

ベーコン

《ベラスケスによるインノケンティウス10世の肖像後の習作》

戦後のイギリス美術(2)



ベーコン

《キリスト磔刑図を基盤とした3つの人物画の習作》

- By <http://www.tate.org.uk/servlet/ViewWork?workid=674&searchid=20526>, Fair use, <https://en.wikipedia.org/w/index.php?curid=2982961>

ブリティッシュ・ポップ(1)

- このようなベーコン的な作品への反抗として、**ブリティッシュ・ポップ**（**ブリットポップ**）が興った。
- この運動はアメリカのそれと同様に通俗的なモチーフが用いられた。特に**ハミルトン**の『**一体何が今日の家庭をこれほどに変え、魅力あるものになっているのか**』はポップアートの誕生を告げる作品として名高いが、他にも**パオロツツィ**や**ホックニー**が有名である。



Fair use, <https://en.wikipedia.org/w/index.php?curid=4161528>

ハミルトン

《一体何が今日の家庭をこれほどに変え、魅力あるもの
にしているのか》

ブリテイッシュ・ポップ(2)



By Photo file created by Tate Gallery: London -- Original artwork created by Eduardo Paolozzi (b:1924-d:2005) - Internet site: Tate Gallery Collection -- URL: <http://www.tate.org.uk/servlet/ViewWork?cgroupid=999999961&workid=11350&searchid=8201∓tabview=image>, Fair use, <https://en.wikipedia.org/w/index.php?curid=19467249>

パオロツィ 《私はお金持ちのおもちゃだった》

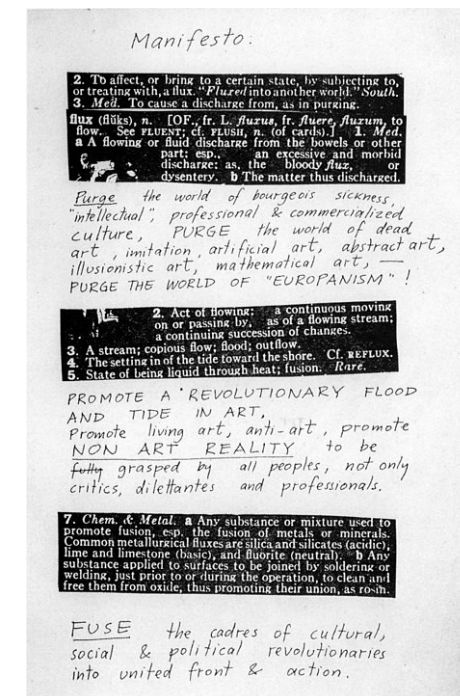


Fair use, <https://en.wikipedia.org/w/index.php?curid=4214938>

ホックニー 《大きい水しぶき》

フルクサス(1)

- ネオダダと並び称される運動として、1962年に結成され国際的に展開した**フルクサス**という運動がある。
- 「Fluxus」とはラテン語で「流れる、変化する、下剤をかける」を意味し、ヨーロッパの伝統的な芸術に対する前衛的性質を掲げていたものの、流動性ゆえにその厳密な定義は避けられていた。



フルクサスマニフェスト

フルクサス(2)

- 他の特徴として**多国籍**のグループであることや、メンバーと非メンバーの区別があいまいであること、**広い芸術ジャンルにまたがる**こと、グループとしてのはっきりした主義主張を持たないことなどがある。



CC 表示-継承 3.0,
<https://commons.wikimedia.org/w/index.php?curid=305777>

ナム・ジュン・パイク 《Pre-Bell-Man》

フルクサス(3)

- 代表的な芸術家は以下である。その国際性ゆえ日本人の作家も多い。

1. **ジョージ・マチューナス** (創始者)
2. **アラン・カプロー**
3. **ナム・ジュン・パイク**
4. **ヨーゼフ・ボイス**
5. **オノ・ヨーコ**
6. **靉嘔** (あいおう)
7. **ジョン・ケージ** (音楽家、『4分33秒』)
8. **刀根康尚** (音楽家、ノイズミュージックの第一人者)

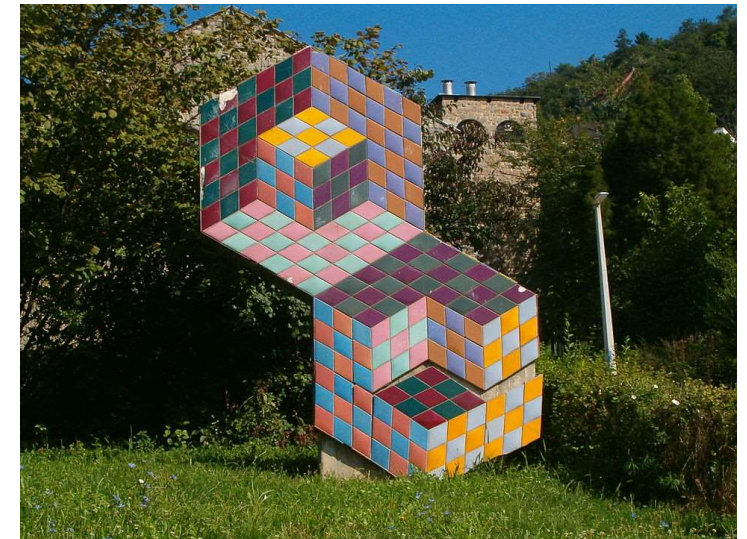
- マチューナス以外の作家は別の項目でまた扱うため、作品などは後ほど紹介します。

本日の内容

- 世界史：米ソ冷戦
- 美術史：アンフォルメルと抽象表現主義
- 美術史：アメリカとイギリスのポップ・アート
- **美術史：機械文明と美術**
- 美術史：表現世界の拡大

機械文明と美術(1)

- これまで見てきた抽象表現主義とポップ・アートは正反対の志向を示しながらも、人間の情念や感覚に訴えかけるという点で共通する一面も持っていた。
- このような美術潮流に対して、**機械技術**の発展が著しいこの時代、その新しい表現可能性に強くひかれた芸術家たちもいた。

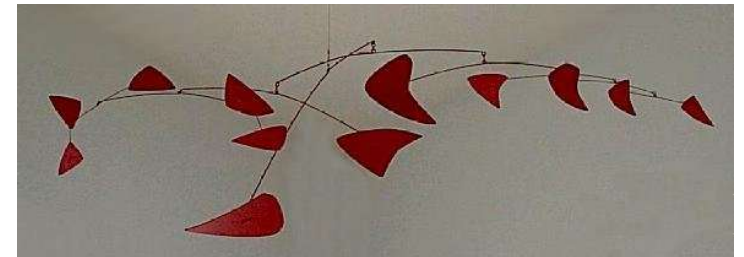


CC 表示-継承 3.0,
<https://commons.wikimedia.org/w/index.php?curid=292969>

ヴィクトル・ヴァザルリの屋外作品

機械文明と美術(2)

- 彼らは情念の噴出や偶然の効果よりも**緻密な計算に基づく新たな秩序**を求めた。
- その結果生まれたのが錯視的な抽象絵画である「**オブ・アート**」や、モーターやモビールなどによる運動や光、音を取り入れた「**キネティック・アート**」、「**ライト・アート**」である。



By Montrealais at the English-language Wikipedia, CC BY-SA 3.0,
<https://commons.wikimedia.org/w/index.php?curid=2251484>

アレクサンダー・カルダー 《赤いモビール》

本日の内容

- 世界史：米ソ冷戦
- 美術史：アンフォルメルと抽象表現主義
- 美術史：アメリカとイギリスのポップ・アート
- 美術史：機械文明と美術
- **美術史：表現世界の拡大**

表現世界の拡大(1)

- 1970年以降、多くの芸術家たちが新しい表現を求め、自己の創造世界を切り開いていった。
- その結果、今日では絵画、彫刻、建築といった**伝統的分類では捉えきれない作品**が数多く作られた。これを象徴するのが、「フォーヴィスム」などの「イズム」から、「ポップ・アート」などの「アート」への名称の移行であり、これは新しい試みは新たな「芸術」であることを暗示する。



ニキ 《ナナ》 (ドイツのハノーファー)

表現世界の拡大(2)

- 様々な表現が生まれたが、ここでは以下を扱う。
 - ① パフォーマンス・アートの諸相
 - ② ニューヴォー・レアリズム
 - ③ ミニマル・アート

パフォーマンスアートの諸相: CONTENTS

- ① ハプニング
- ② ヨーゼフ・ボイス
- ③ 「生きている彫刻」

ハプニング

- **ハプニング**とは、非再現的で一回性の強いパフォーマンスアートや作品展示のことである。
- **アラン・カプロー**が1959年に行った『**6つの部分の18のハプニング**』に端を発し、様々な芸術家がこの表現を行うようになった。
- ハプニングはパフォーマンスアートやインスタレーションに大きな影響を与えた。



マルタ・ミノヒン
《Reading the news》

ヨーゼフ・ボイス

- **ヨーゼフ・ボイス**は初期のフルクサスに関わり、パフォーマンスアートやハプニングの数々を演じたほか、『**社会彫刻**』の概念を編み出し芸術家の地位向上にも貢献した。
- 彼は**脂肪とフェルト**を使った彫刻を作ったほか、『**私はアメリカが好き、アメリカも私が好き**』というコヨーテと共に一週間暮らすパフォーマンスなどの芸術実践を行った。



By Art talk : the early 80s, p. 80; photo by Caroline Tisdall, courtesy of Ronald Feldman Fine Arts, Fair use, <https://en.wikipedia.org/w/index.php?curid=68657130>

ボイス

《私はアメリカが好き、アメリカも私が好き》

「生きている彫刻」(1)

- 1960年代の終わりごろから、ヨーロッパにおいてもアメリカにおいても、**身体をメディア（表現媒体）とした制作**が盛んとなっていた。
- **ピエロ・マンゾーニ**は自他の身体をメディアとして使ったアーティストである。彼は人の身体に署名をしてそれを「彫刻」とする『**生きている彫刻**』や、自らの排泄物を缶詰にした『**芸術家の糞**』を制作し、伝統的な芸術観を戯画化した。



By Jens Cederskjold, CC BY 3.0,
<https://commons.wikimedia.org/w/index.php?curid=52830146>

マンゾーニ 《芸術家の糞》

「生きている彫刻」(2)

- **ブルース・ナウマン**は自己の身体をメディアとして用いたパイオニア的アーティストである。
- 彼にとっては自らの身体こそが芸術作品の根本的な素材であった。つまり、**彼の身体は主体であり客体でもあった。**
- 言語ゲームの概念に影響を受け、『**Flesh to White to Black to Flesh**』のようなビデオ作品や、『**Human/Need/Desire**』のようなネオン管を使った作品で知られる。



GVA IVAM 2013, *Flesh white to black to flesh*, 1968. Bruce Nauman, accessed 18 August 2022, <<https://www.youtube.com/watch?v=HjEAtc0Ee4M>>

ナウマン

《**Flesh to White to Black to Flesh**》

「生きている彫刻」(3)

- **ギルバート & ジョージ**は自らを「生きた彫刻」とし、常に二人で行動し同じスーツを着ることで、その生活すべてを作品とした。
- 『**歌う彫刻**』というパフォーマンスが最も有名である。この作品は、彼らは顔を金色に塗り、オートマタを連想させる機械的な動きをしながら歌を歌い続けるというものだった。
- フォトモンタージュの作品も制作しており、先日も日本で展示を行うなど未だ精力的に活動している。



By DarTar: original portrait cropped by Beyond My Ken (talk) 21:45, 11 August 2018 (UTC) - Own work, CC BY-SA 4.0, <https://commons.wikimedia.org/w/index.php?curid=71537075>

ギルバート & ジョージ

ヌーヴォー・レアリズム(1)

- 1960年4月、美術評論家ピエール・レストタニの宣言文とともに、**ヌーヴォー・レアリズム**（**新しいリアリズム**）という運動が始まった。
- このグループに属したメンバーはそれぞれ表現の手段が異なっていたが、「リアリズム」の名の通り、彼らはみな**生活と芸術を近づけ、新しいリアリティを表現する**ことを模索していた。



By Munfarid1 - Own work, CC BY-SA 4.0,
<https://commons.wikimedia.org/w/index.php?curid=14105823>

クリストとジャンヌ＝クロード
《梱包されたエトワール凱旋門》

ヌーヴォー・レアリズム(2)

- 以下が代表的な芸術家である。
- 1. **イヴ・クライン**（独自の青色（International Klein Blue, IKB）を用いた作品で有名。）
- **セザール**（スクラップを圧縮する「圧縮彫刻」や、人体の一部を拡大する「膨張彫刻」を制作した。）
- **ニキ・ド・サン・ファル**（フェミニズムの文脈において「射撃絵画」や彫刻「ナナ」シリーズを作った。）
- **クリストとジャンヌ＝クロード**（建築物を「梱包」した。）



ニキ 《ナナ》（ドイツのハノーファー）

ヌーヴォー・レアリズム(3)



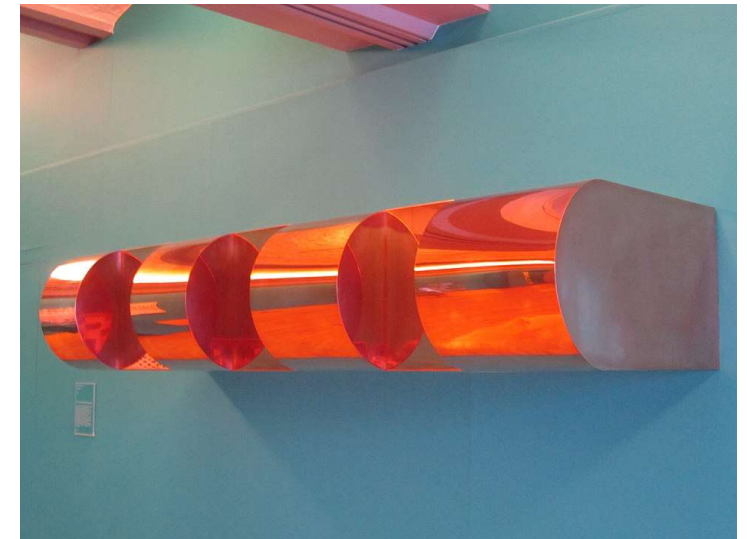
セザール 《L'Homme de Figanières》



クラインの音楽劇場のレリーフ

ミニマル・アート(1)

- 1960年代にアメリカでは**ミニマリズム**が登場し、要素を最小限度まで切り詰めようとする態度が芸術の諸分野で生まれた。
- 美術においては**フランク・ステラ**や**ドナルド・ジャッド**、**カール・アンドレ**らによって**ミニマル・アート**が生まれ、抽象表現主義を批判的に継承しつつ、**手仕事性を消し去ること**で抽象美術の純粹性を徹底的に突き詰めた。
- また、ミニマル・アートの作品は**場所に固有**（**サイトスペシフィック**）なものであり、**インスタレーション**の考えにもつながった。



By Rept0n1x - Own work, CC BY-SA 3.0,
<https://commons.wikimedia.org/w/index.php?curid=19488783>

ジャッド 《無題》

ミニマルアート(2)



By
http://www.whitney.org/www/american_voices/240/index.html, Fair use,
<https://en.wikipedia.org/w/index.php?curid=23120602>

ステラ

《旗を高く掲げよ (Die Fahne Hoch!)》



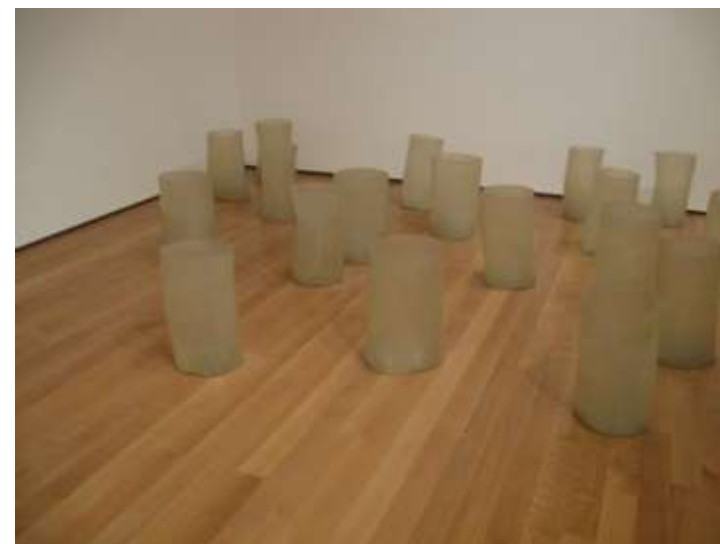
By This Non-free content is a work which has been published or publicly displayed outside Wikipedia:
<https://www.tate.org.uk/art/artworks/andre-144-magnesium-square-t01767> The identification of the source of the original copyrighted material, supplemented, where possible, with information about the artist, publisher and copyright holder, and year of copyright is displayed to help determine the material's potential market value., Fair use,
<https://en.wikipedia.org/w/index.php?curid=65017104>

アンドレ

《144 Magnesium Square》

ポストミニマリズム

- このようなミニマリズムの影響を受け、これをさらに発展させた芸術家たちは**ポストミニマリスト**と総称される。
- 「**ポストミニマリズム**」の語は特定の運動ではなく**美術・美学的な傾向**であり、**日常的でシンプルな素材を用いた作品が多い**（が、多様なアーティストがこの分類には含まれるため、一概には言えない）。
- **エヴァ・ヘス**や**リチャード・セラ**が挙げられる。



This work is licensed under the Creative Commons Attribution 2.0 License.

By Original work: Eva Hesse
Depiction: Claire P. - Flickr, CC BY 2.0, <https://en.wikipedia.org/w/index.php?curid=42071683>

エヴァ・ヘス

《**Repetition Nineteen III**》

本日のまとめ

- **冷戦**が起こり、世界は東西に分かれた。緊張は長く続いたものの、89年とうとう終結した。また、この動きの中で**第三世界**が台頭した。
- 戦後のアメリカでは**オールオーバー**な画面が特徴である**抽象表現主義**が生まれ、またこの潮流への反抗として**大衆的なモチーフ**を用いた**ポップ・アート**が生まれた。
- 他にも**ハプニング**や**ミニマル・アート**、**ニューヴォー・リアリズム**など様々な潮流が生まれた。

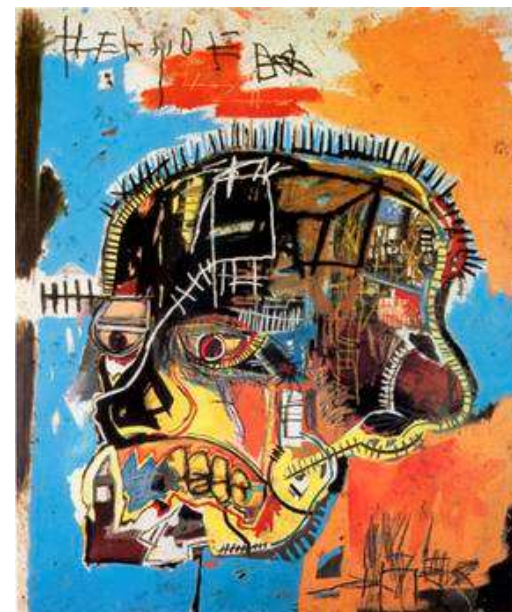


By Roy Lichtenstein -
<http://www.lichtensteinfoundation.org/0117.htm>, Fair use,
<https://en.wikipedia.org/w/index.php?curid=5673384>

リキテンスタイン 《溺れる女》

次回の内容

- 時代が進むにつれ、現代美術はますます多様になっていく。
- もはや物質性すら不要となった**コンセプチュアル・アート**や、写真を精密に転写する**スーパーリアリズム**、美術館を飛び出し大地に直接描いた**アース・ワーク**が生まれるなか、**新表現主義**によって絵画の復権が成される。
- 関連ワード
 1. 河原温 『日付絵画』



Fair use, <https://en.wikipedia.org/w/index.php?curid=12426299>

バスキア 《Untitled (Skull)》